

# BE1431F 火災警報発信器 マニュアル

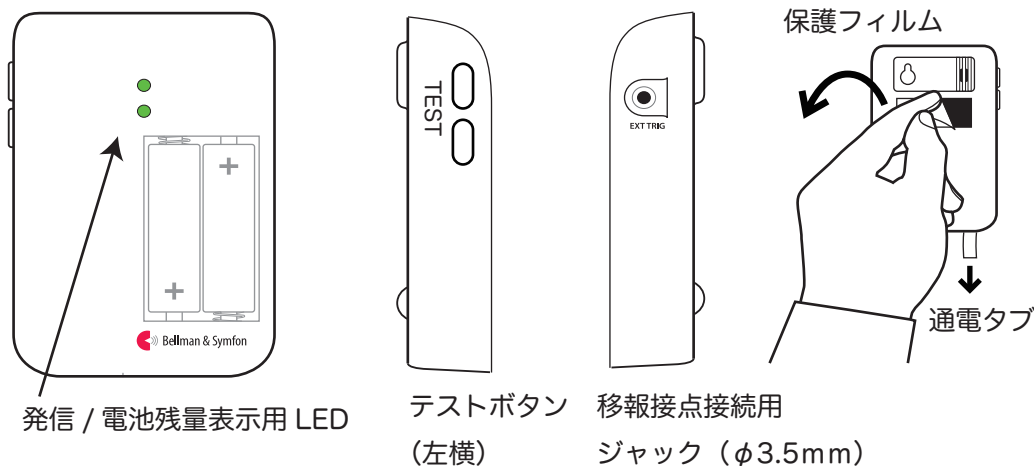
## 機能

ベルマンビジットシステムの火災警報発信器は、住宅用火災警報器（移報接点付）と有線接続することにより火災発生を光、振動、音（受信器の機種によります）で通報する機器です。

※文中では住宅用火災警報器（移報接点付）を「住警器」と表します。

## 取り付け方法

1. 電池通電タブを引き抜くと火災警報発信器は電源が入ります。（単三リチウム電池が2本同梱）
2. 住警器の移報接点と火災警報発信器の移報接点接続用ジャック（右側面）の間を付属ケーブルでつなぎます。つなぎ方は別図を参照してください。
3. 保護フィルムを剥がして火災警報発信器を壁などに貼りつけてください。付属のネジで固定することもできます。



## テスト方法

1. 火災警報発信器のテストボタン（左側面のボタン上下）を同時に押してすぐに離すと正面の上のLEDが点灯して各受信器は35秒間反応します。（途中で動作を止めることはできません）
2. 次に住警器のテストボタンを押すと正面の下のLEDが点灯して各受信器は1分30秒間反応します。（途中で動作を止めることはできません）  
※テストボタンは通常は長押しする必要があります。  
住警器の取扱い説明書を参照してください。
3. 以上の動作が確認できたらシステムは完全に作動しています。

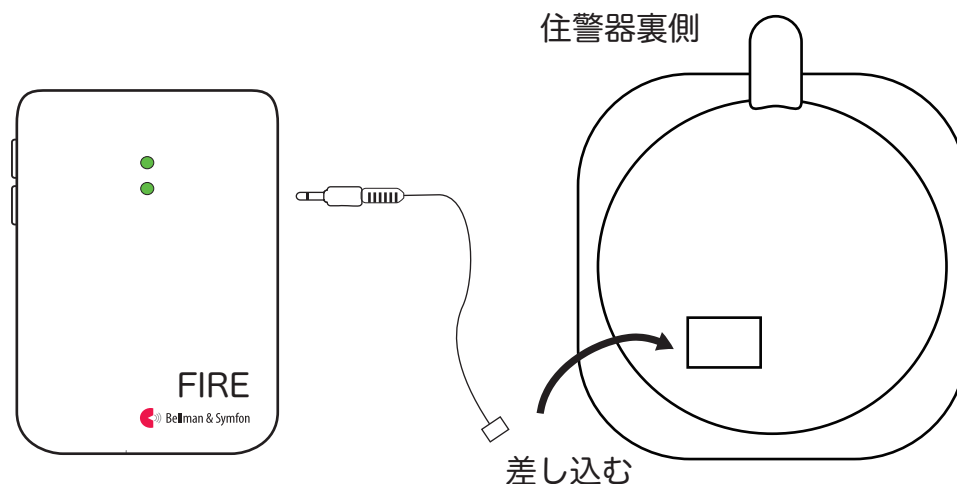
## 受信器側の信号パターン

住警器が作動した場合は火災警報発信器は各ベルマンビジット受信器に対して無線信号を発生します。無線の到達範囲内にある全ての受信器は無線設定スイッチの位置にかかわらず火災警報発信器の無線を受信し各受信機が反応します。

信号タイプ	LED	フラッシュライト	振動	アラーム音
火災警報	赤色：常時点滅	点滅	長時間	火災警報音

## 火災警報発信器と住警器との接続方法

ホーチキ製住警器 本器の付属ケーブルを使って図のように双方をつなぎます。



※他社の移報接点付の住警器をご使用の場合は付属ケーブルでは形状が合いませので販売店または自立コムまでご連絡ください。

## 技術情報

電源	電池： 2 x 1.5V 単三リチウム電池（同梱）
電気消費	動作時 < 30mA 待機時 < 15 $\mu$ A
動作時間	リチウム電池 ~10年
作動トリガ	テストボタン、3.5mm外部トリガ
無線周波数帯	315MHz
無線到達距離	30m 直線見通し距離 到達距離は壁や大きな物体、その他の発信器などにより減衰の可能性あり。
無線設定スイッチ	ご購入後に変更する必要はなし（変更不可）
付属品	住警器との接続用ケーブル（2m）

## 追加情報

### \*使用について

室内での使用のみ 動作可能温度：15-35℃ 相対湿度：5%-95%

### \*メンテナンスとクリーニング

メンテナンス不要 乾いた布で汚れを拭き、各種クリーナ（エアゾールスプレー、溶剤、アルコール、アンモニア、研磨剤）は使用不可 再利用不可

## トラブルシューティング

毎分橙色のLEDが点灯	電池を交換。単三リチウム電池のみを使用
緑のLEDが点灯するが受信器は反応しない	火災警報発信器と受信器類の電池および電源プラグを確認 受信器が本器から離れすぎていないか？無線到達距離は約30mですが建物の構造により短くなる場合があります
火災警報器が鳴っても火災警報発信器のLEDが光らない	テストボタン上下を同時に押す 緑のLEDが点灯する場合は全ての接続が正しいかを確認 緑のLEDが点灯しない場合は電池を交換。電池は単三リチウム電池のみを使用
2つのテストボタンを押しても緑のLEDが点灯しない	電池を交換 単三リチウム電池のみを使用 それでも点灯しない場合は販売代理店か(株)自立コムへ連絡

150-0044 東京都渋谷区円山町 28-4  
代表

TEL. 03-3476-2160 FAX. 03-3476-2425  
修理・デモ器

TEL. 03-3476-2175 FAX. 03-3476-2435  
<http://www.jiritsu.com>

製造元：Bellman&Symfon 製造国：中国



株式会社 自立コム